

愛と憎しみの彼方へ (1951)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1951/01/11

公開情報 東宝

【解説】

寒川光太郎『脱獄囚』をもとに「暁の脱走」の谷口千吉と黒澤明が共同で脚本を執筆、谷口がメガホンをとった。北海道の大森林を舞台に展開するスリルとサスペンスの一大スペクタクル巨編。

北海道の網走刑務所で脱走事件が発生。首謀者は「オホーツク不動」という異名を持つ模範囚の坂田五郎だった。当直看守の久保部長が調べたところ、極悪囚人「生疵の助」こと鎌田与助が坂田の妻と医師の北原との不倫話をでっち上げ、坂田に脱獄を手伝わせたのだ。久保は捜査隊に参加して、坂田の誤解を取り除こうとする。坂田の妻まさ江は子供を連れ、北原とともに夫婦の思い出の地を目指していた。しかし怒りに駆られた坂田は、飯場で手に入れた銃を北原に向けるのだった。

【クレジット】

監督 谷口千吉

製作 田中友幸

原作 寒川光太郎

脚本 谷口千吉

黒澤明 Akira Kurosawa

撮影 玉井正夫

美術 北辰雄

音楽 伊福部昭

出演 池部良

水戸光子

三船敏郎 Toshiro Mifune

志村喬

小沢栄

上田吉二郎